

人間環境大学

# 大学院案内

令和5年度 入学案内



いのち・こころ・環境の未来を創造する大学

# 人間環境大学

UNIVERSITY OF HUMAN ENVIRONMENTS

「いのち」「こころ」「環境」を学び、  
実践する力を培う大学へ

人間環境大学 学長  
牧山 助友

2007年～2011年 東京学芸大学副学長  
2011年～2016年 日本芸術文化振興会審議役  
2016年～ 現職

◆学会・社会活動など  
大学行政管理学会会員・教員養成評価機構理事  
同 評価委員会委員・教育支援人材認証協会理事



2023年4月 松山看護学 研究科を開設します。

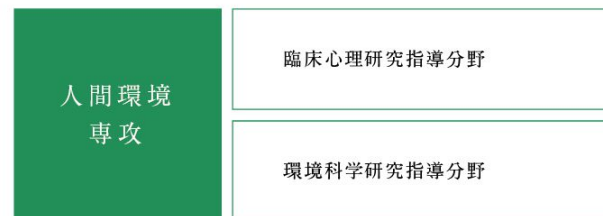
- 1999年12月 人間環境大学人間環境学部人間環境学科設置認可
- 2000年04月 人間環境大学開学  
人間環境学部人間環境学科開設
- 2002年12月 大学院人間看護学研究科人間看護専攻(修士課程)設置認可
- 2003年04月 大学院人間看護学研究科人間看護専攻(修士課程)開設  
附属臨床心理相談室開設
- 2009年09月 看護教育センター開設
- 2014年01月 学校法人河原学園となる
- 2014年12月 看護学部看護学専攻(博士前期課程・博士後期課程)設置認可  
大学院看護学研究科看護学専攻(博士前期課程・博士後期課程)設置認可
- 2015年03月 大府キャンパス開設
- 2015年04月 大学開設15周年  
看護学部看護学専攻  
大学院看護学研究科看護学専攻(博士前期課程・博士後期課程)開設



- 2017年04月 人間環境学部心理学科開設  
人間環境学部環境科学科開設  
松山看護学部看護学専攻開設
- 2020年04月 松山キャンパス開設
- 2022年04月 大学院看護学研究科 助産師養成課程 開設  
心理学部心理学科・犯罪心理学科開設  
環境科学部フィールド生態学科・環境データサイエンス学科開設  
総合心理学部総合心理学科開設  
松山道後キャンパス開設
- 2023年4月 大学院松山看護学研究科看護学専攻(博士前期課程・博士後期課程)開設



## 大学院 人間環境学 研究科 (修士課程) (愛知県・岡崎キャンパス)



## 大学院 看護学 研究科 (博士前期課程)(博士後期課程) (愛知県・大府キャンパス)



NEW 2023年4月開設!

## 大学院 松山看護学 研究科 (博士前期課程)(博士後期課程) (愛媛県・松山キャンパス)



## Contents

人間環境学 研究科 (修士課程)	看護学 研究科 (博士前期課程)(博士後期課程)	松山看護学 研究科 (博士前期課程)(博士後期課程)
03 人間環境学 研究科 Topics 臨床心理士合格実績 / 指導教員からのメッセージ	09 教育の理念 / 分野紹介	13 教育の理念 / 分野紹介
04 看護学 研究科 Topics 助産学分野の特長 / 学生からのメッセージ	10 看護学 研究科領域紹介	14 松山看護学 研究科教員紹介
05 研究科概要	11-12 看護学 研究科教員紹介	
06 環境科学 研究指導分野 環境科学 研究指導分野教員紹介		
07 臨床心理 研究指導分野		
08 臨床心理 研究指導分野教員紹介 人間環境専攻共通科目担当教員紹介		

## 人間環境学研究所 〈修士課程〉



### 修士課程



### TOPICS

#### 臨床心理士 日本臨床心理士資格認定協会資格試験 本学大学院修了生(受験者)の合計合格率

(大学院開設後18年間)  
合格者106名 (合計合格率)  
受験者114名 (94.5%)

# 93.0%を達成!

(参考)全国平均合格率 令和元年度62.7%、令和2年度64.2%

合格者は臨床心理士として、単科精神科病院、総合病院・大学病院の精神科、メンタルクリニック、児童福祉関係機関、教育機関(小・中学校のスクールカウンセラーなど)などで活躍しています。

#### 実習重視の研究環境

大学付設の臨床心理相談室や学外の精神科病院、メンタルクリニック、学校・施設などでも積極的に実習を行っています。

#### 人間環境大学附属臨床心理相談室

人間環境大学附属臨床心理相談室は、子どもたちをはじめとして、さまざまな「こころ・からだ」の問題を抱える方への相談室として開設され、毎月延べ100件を超えるクライアントへの心理相談(カウンセリング)を行い、地域に貢献しています。また、この相談室は、人間環境大学大学院の実習施設でもあり、本学大学院生が、未来の臨床心理士を目指し、教員の厳しい指導のもと、カウンセリングや遊戯療法に取り組んでいます。

### 指導教員からのメッセージ

#### 心理臨床の 基本的な姿勢を身につけるとともに、 心理臨床の仲間を作る

臨床心理士 / 公認心理師を目指す人の多くは、大学院で初めて直接クライアントに関わります。それは一人前のセラピストになるための長い道のりの第一歩です。その第一歩をどのような環境のなかで踏み出すかは、その後のありかたに大きな影響を及ぼします。人間環境大学の大学院では、何よりも心理臨床の基本姿勢をしっかりと身につけること、そして心理臨床の仲間を作ることをしていただきたいと思っています。



教授 高橋 健人  
臨床心理士・公認心理師

愛知教育大学大学院教育学研究科修士課程修了。  
精神科医療機関を中心に児童施設や産婦人科でも心理臨床経験を積み重ねる。専門は心理療法、カウンセリング学。

### 修了生からのメッセージ

臨床心理実習の時間が多く取られているのは、本大学院の魅力です。大学附属の臨床心理相談室があるので、子どものプレイセラピーについて丁寧に学ぶことができます。また、学外の専門機関による実習では、他職種との連携についても学ぶことができます。広い視点で物事を捉えようとする姿勢が身に付き、修了後すぐ就職しても活躍できる力が養われます。

私が勤める児童養護施設では、幼少期から親元を離れて育つ子どもたちの心の支援を、保育士や児童指導員と連携して行っています。特に、心理職である私は、玩具や描画、箱庭などを通して、子どもが言葉にはできない想いを理解し、汲み取るのが求められ、実習での経験がまさに活かされています。

心理職は、危機的な状況のときほど必要となる職種です。そのため、絶えず支援の在り方を学ぶことが大切です。本大学院では、医療・

教育・福祉の領域で働く修了生のための研究会があり、修了後の自己研鑽の機会となるだけでなく、そこでの仲間との時間が自身の心の支えとなっています。



米澤 由実子 さん  
児童養護施設  
臨床心理士・公認心理師  
2007年3月修了

## 看護学研究科 〈博士前期課程〉 〈博士後期課程〉



### 大学院



\*助産師実習コースでは、助産師資格の取得を目指すことができます。

### TOPICS

#### 2020年4月、 愛知県内の私立看護系大学院で初めて「助産師養成課程」を開設。

人間環境大学は、学部、大学院博士前期課程・博士後期課程の三課程を有する日本で数少ない総合看護教育機関であり、系統的な教育により専門性の高い高度実践を通える助産師育成の実現が可能です。

博士前期課程修了後に、博士後期課程において、さらに深く発展的に将来の助産学の研究者として学修を重ねることもできます。

これからの助産師は、正常産のみならずハイリスク妊婦・新生児への対応や女性の生涯にわたる健康問題への対応能力、そして周産期医療の課題を分析して変革する視点をもつことが求められています。人間環境大学大学院看護学研究科では、修士の学位をもち、エビデンスに基づく高度助産実践能力を発揮して、本学が立地する大府市近隣を中心に地域に視野を広げ、現状を分析できる研究能力を備えたリーダー・管理者・教育者を目指す助産師を育成します。



人間環境大学 大府キャンパス

#### POINT 1

##### ハイリスクに対する 助産実践の強化

正常産を自律して診断し、さらに緊急・異常時に対応できる臨床推論力を培います。社会的課題に対応できる身体的・心理社会的ハイリスクに対する助産実践を強化します。

#### POINT 2

##### 対話力の強化 臨床心理研究指導分野 との共同演習

生命と人間を尊重し、性と生殖に関する健康や権利および意思決定、さらには倫理的問題に対応できる能力を育成するために徹底した対話力の強化を図ります。

#### POINT 3

##### 臨床のリーダーとなる コーディネータ力

助産師としてのリーダーシップを発揮し、他職種と連携・協働・調整ができる能力を育成するために、臨床助産のリーダーとなる高度助産実践を強化します。

#### POINT 4

##### 取得学位 修士(助産学)

母子保健や周産期を取り巻くさまざまな課題を捉え、助産ケアに取り組み能力を育成するために、臨床に応用・還元できる助産学研究を指導します。

### 修了生からのメッセージ



看護学研究科  
博士前期課程 修了  
曾我 絢衣 さん

生命の尊さ、素晴らしい魅力を感じ、私も生命の誕生の瞬間に立ち合い、家族が増える新しい生活への第一歩に寄り添える助産師になりたいと強く思い助産師を目指しました。

大学院で助産師を目指す魅力は、研究を通して助産実践ケアを様々な視点から考えることができることです。本学では、正常産だけでなく、ハイリスクにも対応できる実践能力を身に付けられることや、妊娠だけでなく、女性の生涯の健康問題にも視野を広げ、臨床に応用、還元できる学びがあることに魅力を感じていました。授業では、少人数でのディスカッションを行い、自分の意見や考えを問われる機会が多くありました。また、大学院は少人数のため先生方にも積極的に質問でき、日々知識が増えていくことで助産学の楽しさを感じました。

将来は、ハイリスクにも対応できるような幅広い知識と技術をもち、妊娠婦さんや家族に寄り添える助産師になりたいと思っています。



人間環境学研究科長  
磯貝 明

「人」と「人をとりまく環境」について総合的に研究します。

人間環境学研究科には、「臨床心理研究指導分野」と「環境科学研究指導分野」があります。臨床心理研究指導分野は、日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院であり、修了後は臨床心理士資格試験の受験資格が得られます。そのため、大学院開設以来、多くの臨床心理士を養成してきました。臨床心理士となった修了生は、単科精神科病院、総合病院・大学病院の精神科、メンタルクリニック、児童福祉関係機関、教育機関（小中学校のスクールカウンセラーなど）などで活躍しています。また、新たな国家資格「公認心理師」の受験資格に対応した科目も整備しています。精神やこころのはたらきを、表出される言葉や行動のみでなく、夢やイメージなど無意識の探求を通じて解明します。病院、施設、学校などにおける実習が充実していることも特長です。

また、環境科学研究指導分野では、環境問題に関する総合的な知識と洞察力を習得すべく、環境と関わる人間とその活動について探求します。

名古屋大学博士（経済学）、名古屋大学経済学部助手、日本学術振興会特別研究員（PD）、本学准教授を経て現職。博士學位論文「わが国における税効果会計の制度論的研究」。

## 教育・研究の理念

人間にとっての「環境」とは、単にその中に存在し活動するといった意味をもつだけでなく、自らが創造し利用するといった意味ももっています。しかし、地球温暖化や家庭崩壊といった現代社会の抱える問題に代表されるように、人間と環境の関係は危機的な状況にあります。そして、このような結果を招いた背後には、人間と環境の関わりを単純な関係に還元して理解してきた近代科学や学問研究のありかたに根本的な問題があると考えられます。さらには、新たな脅威となった感染症蔓延に対しても、私たちは新たな生活様式の構築が求められています。

このような認識に立脚して、人間と環境の関わりを問い直し、学問の根本からの改革を実現していくことが、本研究科の研究・教育の目的となります。そして、今日の教育やモラルの問題が、教養教育、人格教育の欠如にあるという認識のもとに、人類社会に貢献する人格の育成にも積極的に取り組んでいきます。

## 教育・研究の特色

人間と環境の関わりについて総合的に研究することを目的として、本研究科では、3つのアスペクトから研究・教育をすすめていきます。

第一のアスペクトは、現代社会が陥っている精神の危機的状況を分析し、その危機を克服していくことです。

第二のアスペクトは、科学技術や経済活動の発展と地球環境の保護といった対立する問題の解決に取り組み、豊かな未来を創出するために有効な方法を見出すことです。

そして第三のアスペクトは、人間がこれまでの歴史のなかで形成してきた技術、芸術、文学、思想などの文化環境を振り返って考察することです。

本研究科では、これらの3つのアスペクトに対応して、臨床心理研究指導分野、環境科学研究指導分野、および人間環境専攻共通科目によって、横断的かつ総合的な研究を可能にするカリキュラムが編成されています。学生は、研究指導を受ける教員が担当する演習・実習科目や講義科目を受講するだけでなく、各分野すべての科目を受講することによって、「人間環境学」を修めることになります。

## 人間環境学研究科

人間環境専攻

臨床心理  
研究指導分野

環境科学  
研究指導分野

人間環境学研究科

## 環境科学研究指導分野

環境問題に関する総合的な知識と洞察力を修得します。

環境科学研究指導分野では、環境を、人間の存在と諸活動の基盤になると同時に、その人間によってたえず形成されていくものであるという基本理解に立ち、教育研究を実践しています。したがって、環境とかわる人間とその活動について深く理解したうえで、経済活動や、環境の評価、保全、リスク管理、それらを統括するデータアナリシス、さらには野生動物学や開発人類学など、問題の本質に目を向けた様々な研究を行っています。

こうした環境科学研究指導分野での学びにより、環境問題の科学技術、文化、政策、社会、経済などの諸側面がかわる対立的な問題に対する総合的な知識と洞察力を身に付け、問題の本質を立体的に把握することができる人材となることが期待されます。修士課程修了後の進路には、環境科学分野の研究者になるために、他大学の博士課程、及び博士後期課程へ進学することがあげられます。また、地球環境や経済活動についての高度な知識を必要とする職業に就き、わが国の諸産業が直面する問題を解決していくという道もあります。

【授業科目】 環境経済学特論、環境リスク管理演習、野生動物学特論、開発人類学特論、データアナリシス演習、環境保全特論、企業会計演習 など（予定）

## 環境科学研究指導分野 | 教員紹介 (令和4年4月1日現在)



研究科長 教授 磯貝 明

名古屋大学博士（経済学）。名古屋大学経済学部助手、日本学術振興会特別研究員（PD）、本学准教授を経て現職。博士學位論文「わが国における税効果会計の制度論的研究」。



教授 薄井 智貴

名古屋大学博士（工学）。東京大学空間情報科学研究センター助成、名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター講師、名古屋大学大学院経済学研究科准教授を経て、2019年より現職。専門は交通工学、空間情報学。



准教授 谷地 俊二

横浜国立大学博士（環境学）。人間環境大学人間環境学部卒、農業環境技術研究所特別研究員を経て現職。専門は環境リスク学、水田農業の生物影響と環境中濃度について研究。



講師 西田 美紀

長崎大学博士（海洋科学）。同大学院博士研究員を経て、2018年より現職。イルカ類を対象とした社会生産学的研究に取り組む。



教授 山根 卓二

京都大学博士（経済学）。学位論文「環境認識と経済理論」。環境経済学の様々なアプローチから豊かな自然・生活を実現する道について考える。



教授 藤井 芳一

横浜国立大学博士（環境学）。人間環境大学人間環境学部卒、国立環境研究所アシスタントスタッフ、農業環境技術研究所契約研究員、人間環境大学環境教育センター助手、同助教を経て現職。専門は、土壌生物と物質循環、土壌生態毒性学。



准教授 立脇 隆文

横浜国立大学博士（環境学）。兵庫県森林動物研究センター協力研究員を経て、2016年より現職。中大型野生哺乳類などの生息や保護・管理についての研究に取り組む。



講師 小谷 博光

横浜国立大学博士（学術）。海外で野菜栽培指導（青年海外協力隊）や経済開発プロジェクト（国連ボランティア）に従事し、国際協力を実践。その後、横浜国立大学学官連携研究員などを経て、2019年より現職。開発援助が与える人々への影響を研究テーマとしている。

# 臨床心理研究指導分野

臨床心理士・(国家資格)公認心理師の資格取得を目指します。

現代社会の危機は人間の精神の領域においても、いじめ、不登校、自殺、犯罪、そしてさまざまな精神疾患など、深刻な問題をもたらしています。この精神の危機状況に対して、人々の心を援助しようとする臨床心理学の研究と、その職業実践家としての臨床心理士の養成、および、心の健康の維持を担う公認心理師の養成は、現代の日本社会の切実な課題として求められています。

人間環境大学大学院人間環境学研究科の臨床心理研究指導分野では、臨床心理士資格認定協会のガイドラインに沿った科目編成がなされ、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院に認定されています。臨床心理の理論的支柱と専門的技法について学び、さらには心に対する深い洞察の大切さを探究して、大学院修了後は臨床心理士の資格取得を目指します。そして、専門的な臨床心理学的手法を身につけた職業人として、社会で活躍していきます。また、大学学部で所定の科目を修めて卒業した後、本研究科において所定の科目を修めて修了することで、国家資格である公認心理師の資格取得を目指すこともできます。公認心理師試験に合格し登録することで、国家資格を持つ心の専門家として社会に貢献していくことも期待されます。

研究コースで研究を深めます。

さらに、臨床心理研究指導分野に新たに設置された研究コースにおいては、認知心理学、社会心理学、犯罪心理学などの研究領域における最先端の研究を深めていくことができます。修士課程修了後、博士後期課程進学への道も開けます。

【授業科目】 臨床心理学特論、臨床心理査定演習Ⅰ・Ⅱ、心理実践実習A・B、認知心理学特論、社会心理学特論、犯罪心理学特論 など（予定）

## 第1種指定大学院の充実した指導体制ときめ細やかな教育

人間環境大学大学院人間環境学研究科臨床心理研究指導分野は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院として認められています。つまり将来の臨床心理士を養成するための教育に不可欠な、充実した研修施設と教育体制を持っているということです。また、本学では臨床心理士資格を持つ臨床現場での経験豊富な教員がきめ細やかな指導を行っています。さらに、公認心理師資格を取得するために必要な科目を整備しており、このような指導実績は公認心理師資格取得に向けた教育にも活かされています。

## 臨床心理研究指導分野の特色

### 人間環境大学 附属臨床心理相談室での実践

大学附属の臨床心理相談室は、地域に開かれた臨床心理相談機関としての役割だけでなく、大学院生の実習施設としての役割も担っています。クライアントへの対応、心理療法的なかわり方などについて、教員から丹念な指導を重ねて受けることで、将来の臨床心理士および公認心理師として必要な姿勢や専門的技術を身につけていきます。

### 多様な 学外実習機関での実習

心理的援助を必要とするクライアントの多様な病態や臨床症状に、あるいはさまざまな年齢のクライアントに対応するためには、附属の臨床心理相談室を中心とする学内での実習だけでは十分な研鑽ができません。そこで、人間環境大学大学院では、学内での実習と同時に、精神科病院、精神科クリニック、児童福祉施設、小中学校などの多様な機関での実習を積極的に行っています。

## 臨床心理研究指導分野 | 教員紹介 (令和4年4月1日現在)



### 教授 厳島 行雄

日本大学文学博士。

専門は記憶と供述の心理学。事件に関わる供述者の供述の信用性評価法を、心理学の視点から研究している。また、現実の刑事事件における供述のための鑑定を数多く手がけ、専門家証人として裁判でも証言できている。



### 副研究科長 教授 三後 美紀

臨床心理士・公認心理師。名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。

職場のメンタルヘルスと人間関係に関する研究や、青年期における進路選択に関する研究に取り組んできた。近年は児童福祉施設職員のキャリア発達について関心を持っている。



### 准教授 坂本 真也

臨床心理士・公認心理師。人間環境大学大学院人間環境学研究科修了。愛知学院大学大学院心身科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。

学校現場において、子どもより効果的に援助していくため、SC・教員・保護者の連携・協働のあり方および必要性、さらに地域を含めた心理臨床的援助についても研究を進めている。



### 准教授 西山 めぐみ

名古屋大学博士(心理学)。

専門は認知心理学。認知機能を支える記憶の性質(長期持続性、潜在記憶)とそのメカニズムについて、また、記憶がわたしたちの行動に及ぼす影響について、認知心理学的手法を用いて検討を行っている。



### 講師 樋水 秀和

中京大学博士(心理学)。

明治学院大学助手、中京大学任期制講師などを経て現職。専門は認知心理学。顔の形勢的特徴や表情を分析対象として、対人魅力や集団の印象形成、乳幼児の情動認知などを研究している。



### 教授 高橋 藏人

臨床心理士・公認心理師。愛知教育大学大学院教育学研究科修了。精神科医療領域を中心に養護施設や産業領域でも心理臨床経験を積み重ねてきた。専門は心理療法、カウンセリング学。よりよい心理的援助のあり方を研究している。



### 准教授 吉武 久美

名古屋大学博士(心理学)。名古屋大学大学院教育発達科学研究科後期課程修了。

行動や判断への社会的評価や個人特性などが、社会的行動の含意性推定に及ぼす影響について研究している。また、災害に備えた心理教育について共同研究を行っている。



### 准教授 高橋 誠

臨床心理士・公認心理師。東京学芸大学博士(教育学)。

研究の専門はポジティブ心理学。企業や自治体など産業領域、教育センターや小中学校など教育領域にて臨床活動を経験。専門は家族療法や解決志向アプローチ。



### 講師 丸山 宏樹

臨床心理士・公認心理師。名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。

私立大学の学生相談、公立小中学校のスクールカウンセラーなどの勤務を経て現職。臨床、発達、文化にまたがって実践、研究に取り組んでいる。



### 助教 二宮 有輝

臨床心理士・公認心理師。名古屋大学博士(心理学)、名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程修了。

専門は児童から青年期の心理臨床。子どもが考える命の概念、大学生のインターネット利用、大学生への心理的支援など、複数の観点から児童・青年期の研究を行っている。

## 人間環境専攻 共通科目担当 | 教員紹介 (令和4年4月1日現在)



### 教授 花井 しおり

奈良女子大学博士(文学)。

共著「セミナー 万葉の歌人と作品 第8巻」、「井手至先生古稀記念論文集 国語国文学派」(和泉書院)、「万葉集 一日一首」(未知出版社)など。



### 講師 城田 純平

名古屋大学博士(文学)。

専門は哲学。20世紀ドイツの哲学者マルティン・ハイデガーを中心に研究している。哲学・思想全般および教育、芸術にも関心がある。



### 教授 菅原 太

関西大学博士(文化交渉学)。

美術家。東京都立芸術大学大学院絵画専攻日本画修士課程修了。作品発表のほか学位論文「軸画として見る十二世紀東アジア絵画」等の学術論文あり。



看護学研究科長  
篠崎 恵美子

研究者・教育者・管理者を育成する「総合看護教育機関」です。

看護学研究科には、博士前期課程・博士後期課程がありグローバル社会の中で社会貢献と自己実現を目指す研究者・教育者・管理者を育成する「総合看護教育機関」です。  
博士前期課程では、看護活動現場の改善と改革を行い良質なサービスによる社会貢献を目指すリーダー・管理者・教育者として活躍できる人材を育成します。  
博士後期課程では、卓越した研究能力をもって看護活動現場の改革と看護を実践科学として発展させる社会貢献を目指し、創造的で自立した看護研究者と教育者として活躍できる人材を育成します。

2020年4月には、「助産師養成課程」を愛知県内の私立看護系大学院で初めて開設しました。博士前期課程には「助産学実践コース(助産師養成課程)」があり、助産師を目指すことができます。博士後期課程では、より専門的に助産学について研究できます。

博士(看護学)、名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程満期進学、専門は基礎看護学、フィジカルアセスメント、コミュニケーション、換気患者の研究のテーマとしている。

## 看護学研究科の教育理念

本学看護学研究科の教育理念は、深い学識及び卓越した能力を養い、高度にして専門的な学術の理論及び応用を学修し、その深奥を深く健康課題への取り組みを通して社会貢献と文化の発展に寄与することです。即ち、看護現場における変革と看護を実践科学として発展させることや社会貢献できる卓越した高度で専門性の高い人材を輩出することであり、博士前期・後期課程の共通理念の中核としています。

## 社会的ニーズに対応したカリキュラム 幅広い研究分野と専門領域での教育・研究(4分野8領域)

### ■ 看護教育管理学分野

看護学を学ぶ人に効果的な教育をするために、どのような目的と方法でプログラム化し展開するかを追究して看護教育の改善・改革を目指します。また、複雑化・多様化する健康ニーズに対して看護現場の組織構造等の改善・改革、政策的提案方法等を追究します。

### ■ 実践看護学分野

あらゆる対象におけるエンド・オブ・ライフを支援するエンド・オブ・ライフケア看護学領域と、人間を生涯発達する存在であることとらえる生涯発達看護学領域とで構成され、対象のさまざまな課題に対する支援を追究します。

### ■ 広域看護学分野

地域看護学と国際保健看護学で構成され、全年齢を対象として、地域で生活する場を中心に行う看護と国際的な課題に取り組む広い視野で看護を捉え、包括的に支援できる高度実践者と研究と教育の方向から役割が果たせる人材の育成を目指します。

### ■ 助産学分野

前期課程助産学実践コースでは正常分娩への高度実践、ハイリスク妊産婦への助産ケアを学び、臨床への応用研究を行うことで修士(助産学)を取得します。後期課程では広く助産学理論の構築やエビデンスの創造ができる博士(助産学)の育成を目指しています。

### 長期履修制度について

学生が職業を有している等の事情により、標準修学年齢を超えて一定期間にわたり、計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する場合には、その計画的な履修を認める制度です。仕事などとの両立を図りながら修了をめざすことができます。詳細等は学生募集要項で確認してください。(助産学実践コース(助産師養成課程)を除く。)

分野名	領域名	博士前期課程の概要	博士後期課程の概要
		修業年限:2年 入学定員:20名 学位:修士(看護学) 修士(助産学)	修業年限:3年 入学定員:8名 学位:博士(看護学) 博士(助産学)
看護教育管理学分野	看護教育学領域 特論・演習	国民の健康ニーズに対し、効果的効率的に看護活動を進めることができるリーダー・管理者・教育者の育成を目指しています。今日の多岐にわたる看護基礎教育制度を概観し、それに至った歴史的背景、教育制度上の教育特性、教育の質向上のための教育内容・教育方法・教育環境等の諸課題に取り組みます。さらに、看護学における発展と社会に貢献する研究者を育成するための教育指導方法、教育評価、学修理論などを追究します。	看護学を実践の科学として発展させる新規性・活動的な独創性をもつ自立した研究者としての能力及び教育能力を持った高度な看護人材の育成を指しています。看護学を学ぶ者に効果的な教育を実践するために、どのような目的と方法でプログラム化し、展開するかを追究します。すなわち、教育指導方法、教育評価、学修理論の構築・開発を追究することで、看護教育の改善・改革を目指します。
	看護保健管理学領域 特論・演習	近年、地域包括ケアが推進されています。医療機関での臨床現場における看護管理のみならず、地域における継続ケアを視野にいれた幅広い保健管理が求められています。これらのことを踏まえ、本領域を看護保健管理学と命名しています。博士前期課程における研究では、主に地域医療の質向上にむけた看護実践の活動に結びつく課題に取り組むことが期待されます。	複雑多岐にわたる現代社会生活において、看護学のみならず看護学周辺領域の学問体系的な考え方もふれながら、医療の質とは何かを探究し、看護の質向上のための方策をみだすことが求められています。博士後期課程の研究をとおして、組織や対象の特性を踏まえたプログラムの開発や、科学的な看護実践の探究が臨床現場や政策への提言に結びつくことが期待されます。
実践看護学分野	エンド・オブ・ライフケア看護学領域 特論・演習	総合的に質の高いエンドオブライフケアを提供するために、エンドステージにある患者と家族のケアニーズの特性を理解し、QOLとQODD(Quality of Death and Dying)を高めるケア方法を検討します。また、エンドオブライフケアに関連する理論や概念を理解し、エンドオブライフケア看護学の科学的思考力と実践力の向上を目指します。	エンドオブライフケア看護学では、終末期ケア研究やがん看護学研究で生成された理論・概念・モデルを基礎に、わが国の社会文化を反映したエンドオブライフケア看護学を追求します。さらに終末期におけるがん・非がんのあらゆる対象者の心身ニーズの対応、家族支援を含めた終末期患者のQOL・QODDを高めることに貢献できる研究力を育成します。
	生涯発達看護学領域 特論・演習	人間の一生涯を発達のプロセスとしてとらえる生涯発達の観点から、現代社会の特性が発達段階各期におよぼす影響や、発達段階各期の対象のさまざまな現代的課題を理解し、対象への質の高い看護実践の追究と適用を目指して、実践的な研究に取り組めます。	人間の生涯発達にかかわるあらゆる課題を抱える対象への看護の質保証を重視し、グローバルで学際的な視点をもち、革新的で独創的なケアプログラム開発やケアシステムの開発などを行い、専門的で高度な実践と研究の相互発展によって、新たな知見を創造する研究に取り組めます。
広域看護学分野	地域看護学領域 特論・演習	公衆衛生看護学の理論と実践技術を理論的に学習し、行政・保健・産業保健分野・国内外の先進的な活動実践例より地域に生活する人々の生活の質向上のための専門的な看護実践課題を探究します。在宅看護学の諸概念と在宅ケア利用者の満足度、リスク要因、意思決定支援、アウトカム評価の学習に併せて国内外の在宅ケアシステムを学び在宅看護の実践力を体系的に獲得します。	地域の人々の健康水準の向上を目指して、地域看護の実践と研究の相互関係的な進め方を講義と討論を中心として展開する。エビデンスに基づいた地域看護活動の方向性と地域看護活動課題を見出し、健康に関連する諸要因を明らかにし、課題解決に向けて具体的な行動に移せるよう地域の人々と関係者と協働してPDCAサイクルが回せるようになることをわらとしています。
	国際保健看護学領域 特論・演習	健康や看護にかかわる国際的な問題をテーマにした研究を行います。特に前期課程では、世界のヘルスの基礎と日本と比べている外国のヘルスを学び、現地のフィールド、もしくは日本での調査から論文を完成します。さらに、将来、大学で国際保健看護学を教えることのできるカリキュラムとしています。	国際的な健康や看護にかかわる問題をテーマにした研究を行います。特に後期課程では、現地のフィールド、もしくは日本での調査から論文を完成します。英語の論文執筆を充実させることを希望する者は英語論文投稿を目指します。さらに、将来、大学院で国際保健看護学を教えることのできるカリキュラムとしています。
助産学分野	前期	助産学実践コースは、助産師の資格を持ち、実践現場の課題に対してリサーチマインドをもって探究します。分娩期における生物学的研究、周産期ハイリスクに対する支援、子育て支援等の課題に取り組めます。修了後は修士(助産学)の学位をもち、助産師のリーダー・管理者・教育者となり助産師の質の向上に貢献できる人材の育成を目指します。	後期
	助産学研究コース 特論・演習	助産学実践コースは、愛知県内の私立看護系大学院で初めて開設した助産師養成課程です。エビデンスに基づく高度実践能力と様々な現状を分析できる研究能力を備えた臨床助産のリーダーを育成します。助産師学校指定規則を2単位増やした33単位に加え、博士前期課程の修了要件30単位を修得します。修了後は修士(助産学)の学位をもち、インシニティブをとれる助産師を育成します。	助産学の研究者として、国内外において自主的に研究活動ができる人材を育成します。助産師周辺の様々な課題に対して、グローバルな研究の視点をもって解決する研究能力と、他職種と連携協力し、優れたインシニティブを持つ人間性を醸成します。広く助産学の発展に寄与できる理論の構築やエビデンスの創造や集積ができる博士(助産学)の育成を目指します。

看護教育学領域

看護教育管理学分野

看護保健管理学分野



**研究科長 教授 篠崎 恵美子**  
**学位** 博士(看護学)  
**メールアドレス** e-shinozaki@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程満期退学。  
 専門は基礎看護学。基礎看護技術の模倣や教育方法、看護技術の習得・革新を研究テーマとしている。



**副研究科長 教授 伊藤 千晴**  
**学位** 博士(看護学)  
**メールアドレス** c-ito@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程満期退学。  
 専門は基礎看護学、看護教育学。看護倫理を研究のテーマとしている。



**准教授 山口 貴子**  
**学位** 博士(看護学)  
**メールアドレス** t-yamaguchi@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程満期退学。  
 専門は基礎看護学。基礎看護技術、患者のアセスメントに関することを研究テーマとしている。



**准教授 服部 美穂**  
**学位** 修士(看護学)  
**メールアドレス** m-hattori@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 名古屋大学大学院医学系研究科博士前期課程修了。  
 専門は基礎看護学。基礎看護技術の模倣や教育方法、看護技術の習得・革新過程を研究テーマとしている。



**講師 原 好恵**  
**学位** 博士(看護学)  
**メールアドレス** y-hara@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 人間環境大学大学院看護学研究科博士後期課程修了。  
 訪問看護師を対象としたフィジカルアセスメント、注射のケアに関する研究をテーマとしている。



**教授 藤原 奈佳子**  
**学位** 医学博士  
**メールアドレス** n-fujiwara@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 名古屋大学大学院医学研究科博士課程修了。  
 専門は看護保健管理学。後縦帯骨化症の疫学研究、病院と地域を結ぶ退院支援システムを研究テーマとしている。

エビデンス・プライブケア領域

実践看護学分野

生涯発達看護学領域



**准教授 加藤 亜妃子**  
**学位** 博士(看護学)  
**メールアドレス** a-kato@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 石川県立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程修了。  
 専門は、エンドオブライフケア、緩和ケア、がん看護。エンドオブライフにある患者の家族ケアを主な研究テーマとしている。



**教授 深谷 久子**  
**学位** 博士(看護学)  
**メールアドレス** h-fukaya@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 広島大学大学院保健学研究科博士後期課程修了。  
 専門は、小児看護学、新生児看護学。[NICUにおける子どもと家族のケア][先天性疾患をもつ子どもと家族のケア][出産と子どもに対する母親の反応][子どもの療養環境]を主な研究テーマとしている。



**教授 山根 友絵**  
**学位** 博士(看護学)  
**メールアドレス** t-yamane@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 愛知県立大学大学院看護学研究科博士後期課程修了。  
 専門は老年看護学。在宅高齢者とその家族への支援、認知症高齢者への支援を研究テーマとしている。

実践看護学分野

生涯発達看護学領域



**教授 宮田 延実**  
**学位** 博士(心理学)  
**メールアドレス** n-miyata@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 関西大学大学院心理学研究科博士後期課程修了。  
 専門は応用心理学特殊研究。学校で生じる児童生徒の問題事象を解明する研究に取り組んでいる。



**准教授 中神 友子**  
**学位** 修士(看護学)  
**メールアドレス** t-nakagami@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 名古屋市立大学大学院博士前期課程修了。  
 専門は成人看護学(急性期)、心血管疾患患者のQOL、看護教育を研究テーマとしている。



**教授 巽 あさみ**  
**学位** 博士(医学)  
**メールアドレス** a-tatsumi@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 藤田保健衛生大学大学院医学研究科。  
 専門は公衆衛生看護学。睡眠保健指導、子ども虐待予防、メンタルヘルスを研究テーマとしている。



**教授 松原 紀子**  
**学位** 博士(看護学)  
**メールアドレス** n-matsubara@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 愛知学院大学大学院心身科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。  
 専門は学校保健・養護実践学。保健室来室者への支援、及び、子どもの体力を研究テーマとしている。



**准教授 肥後 恵美子**  
**学位** 修士(看護学)  
**メールアドレス** e-higo@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科博士課程満了。  
 専門は在宅看護学。施設入所高齢者の終末期ケア、在宅療養者の代替医療に関する研究をテーマとしている。



**教授 西川 まり子**  
**学位** Master of Public Health (New York)  
**メールアドレス** m-nishikawa@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 ニューヨーク大学大学院国際地域保健教育(MPH)修了。  
 ジョンズ・ホプキンス大学院公衆衛生で疫学を学ぶ。専門は国際看護学と国際疫学。「世界の国境を越えて移動する人々のヘルスプロモーション」として使用したツール開発」「国際的なフィールドワークを含む現地の人々と在留邦人の健康について」等の国際保健看護学全般と、国際的な地図・地理情報(GIS)を使用した分析を研究テーマとしている。

広域看護学分野

地域看護学領域



**教授 杉下 佳文**  
**学位** 博士(保健学)  
**メールアドレス** k-sugishita@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 神戸大学大学院保健学研究科博士課程修了。  
 専門は母性看護学・助産学。「分娩進行における生物学的研究」「周産期のメンタルヘルスと子ども虐待予防」「胎児への愛着に関する介入」を研究テーマとしている。



**准教授 水野 祥子**  
**学位** 修士(助産学)  
**メールアドレス** s-mizuno@uhe.ac.jp

**研究テーマ等**  
 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科修士課程修了。  
 専門は母性看護学、助産学・院内助産における助産師の労働環境と助産ケアの評価、地域子育て支援を研究テーマとしている。



松山看護学研究科長(予定)  
河野 保子

保健・医療・福祉、及び教育現場における  
看護の実践リーダー、研究能力を有す教育者、  
自立した研究者として貢献できる人材を育成します。

松山看護学研究科は、複雑多岐に変化する社会の中で次世代の看護を先導でき、他職種と協働して健康課題を解決できる研究者・教育者・看護実践リーダーを育成します。そのため博士前期課程(修士号取得)では、看護師・保健師以外の保健・医療・福祉職をも含めて、質の高いケアを探究できる人材を育成します。また博士後期課程(博士号取得)は、自立した研究者・教育者として社会に貢献できる人材を育成します。なお社会人が働きながら学べるよう平日の18時以降、土・日曜日の開講等を設けています。

博士(医学)。専門は基礎看護学、高齢者看護学。研究内容は看護師の自己効力感とキャリアアップ、看護職とアサーション、医療における患者の権利、患者の日常生活活動とQOL、看護実践と倫理的意識決定である。

## 松山看護学研究科の教育理念

松山看護学研究科の教育理念は、「人々の健康課題を看護の視点で探究し、人間・社会に貢献する看護」であり、そのため博士前期課程では、健康上の課題や看護の問題解決・改善に向けて研究的な視点で取り組むことのできる高度な看護実践者・管理者・教育者の人材育成に取り組めます。また博士後期課程では、健康関連の課題に対して、臨床指向型・患者中心型で、対象の尊厳とQOLを看護的視点で追究し、自立した研究者・教育者の育成に取り組めます。

看護学研究科 博士前期課程	設置概要 ◆ 修業年限:2年 ◆ 入学定員:5名 ◆ 学位:修士(看護学)
------------------	--

高度な看護の実践者・管理者・教育者を育成します。

(専門科目・領域)

- 基盤看護学領域
- 発達看護学領域
- 広域看護学領域

看護教育学や実践基礎看護学に関する基礎的概念を学び、看護教育発展のための効果的な教育方法を追究するとともに、科学的根拠を踏まえた生活支援技術の方法を構築します。

母子や家族の健康問題をグローバルヘルス、生涯発達の視点から探究し、最善の看護について探究します。また救急医療における的確な臨床推論力を発展させ、臨床への還元能力を育成します。

地域で暮らすあらゆる人々への保健医療福祉、看護と介護の質を高めるための地域看護の方向性を探究します。また精神看護の課題解決や超高齢多死社会におけるエンドオブライフケアを追究します。

看護学研究科 博士後期課程	設置概要 ◆ 修業年限:3年 ◆ 入学定員:3名 ◆ 学位:博士(看護学)
------------------	--

看護学を実践科学として発展させるために、自立した研究者・教育者を育成します。

(専門科目・領域)

- 看護実践開発領域
- 地域包括ケア領域

基盤看護学・リプロダクティブヘルス看護学・小児看護学・成人看護学の開発のために、各ライフステージにおける高度な看護実践方法や教育方法の探究を通して看護理論を構築し、看護学の新たな知の創造を目指します。

地域包括高齢者看護学・地域包括精神看護学・地域包括在宅ケアの開発のために、高齢多死社会における生命の尊厳と人々の生活の質を探究し、健全な地域社会の健康システムのあり方を追究し、看護学の新たな知の創造を目指します。

## 松山看護学研究科 | 教員紹介 (令和5年4月1日予定)



研究科長 教授 河野 保子 y-kawano@uhs.ac.jp

博士(医学)。愛媛大学。専門は基礎看護学、高齢者看護学。研究内容は看護師の自己効力感とキャリアアップ、看護職とアサーション、医療における患者の権利、患者の日常生活活動とQOL、看護実践と倫理的意識決定である。



教授 森田 克也 k-morita@uhs.ac.jp

薬学博士。福岡大学。専門は薬理学、疼痛学、難治性疼痛の分子基盤及び新規治療法の開発。脳の可塑性・神経伝達機構に関する研究。唾液中心神経栄養因子を指標とした認知症予防を研究テーマとしている。



教授 三並 めぐる m-minami@uhs.ac.jp

博士(学術)。愛媛大学大学院博士課程修了。専門は小児看護学と学校支援。研究内容は子どもが生涯無障環境で育つための家族支援、タバコフリーの実現と喫煙防止教育、養護教諭の危機管理能力を高める実践研究である。



教授 讃井 真理 m-sanai@uhs.ac.jp

博士(看護学)。広島文化学園大学大学院看護学研究科博士後期課程修了。専門は高齢者看護学、高齢者と若者の世代継承性に関連する看護論の構築、及び唾液中の神経伝達物質を指標とする高齢者の健康支援システムの開発等を研究テーマとしている。



教授 別宮 直子 n-bekku@uhs.ac.jp

博士(医学)。愛媛大学大学院医学系研究科博士課程修了。専門は精神看護学、精神疾患をもつ対象者のセルフコントロールに向けた支援、精神疾患をもつ対象者と家族への支援、精神科における倫理的課題解決を研究テーマとしている。



准教授 羽藤 典子 n-hato@uhs.ac.jp

博士(医学)。愛媛大学大学院医学系研究科博士後期課程修了。専門は小児看護学。研究内容は、劇く母親の病児保育の利用に関する子育て支援、学童期と思春期の女性に焦点をあてた冷え関連症状の緩和を目指した基礎的研究である。



特任教授 本田 和男 k-honda@uhs.ac.jp

博士(医学)。京都大学医学部卒業。京都大学大学院医学研究科修了。専門は外科学専攻(消化器、乳腺)、癌の遺伝子解析、癌の化学療法・遺伝子治療である。



教授 赤松 公子

博士(保健学)。岡山大学大学院保健学研究科博士後期課程満期退学。専門は基礎看護学、高齢者看護学。しびれのアセスメントツールの開発、ケア技術の検討、尺度開発、QOLの向上、セルフケア支援に関する内容を研究テーマとしている。



教授 高田 律美 n-takata@uhs.ac.jp

博士(医学)。愛媛大学大学院医学系研究科博士課程修了。専門は母性・小児・国際看護学。研究テーマは「乳幼児の予期せぬ突然死予防」「アレルゲンシミュレーション」「産上国の産産期/他、疫学研究などの母子研究を研究テーマとしている。



教授 中島 紀子 n-nakajima@uhs.ac.jp

博士(医学)。愛媛大学大学院医学系研究科医学専攻博士後期課程修了。専門は基礎看護学。研究内容は、看護基礎技術に関するエビデンスに関するテーマ、また限界集落地域における健康生活を維持するための社会的取り組みについて等である。



准教授 田中 正子 m-tanaka@uhs.ac.jp

博士(看護学)。広島文化学園大学大学院看護学研究科博士後期課程修了。専門は在宅看護学、医療依存状況にある在宅療養者及び家族の生活状況、葛藤、QOL向上、自己効力感、生活満足度、ストレス等を研究テーマとしている。



教授 宮崎 博子 h-miyazaki@uhs.ac.jp

修士(臨床心理学)。宇部フロンティア大学大学院人間科学研究科修士課程臨床心理学専攻修了。専門は公衆衛生看護学、精神障害者への生活支援、精神障害者の家族支援、児童虐待防止のための保護者支援、地域で生活する高齢者の健康づくりを研究テーマとしている。

### ■ 事前面談

入学を希望される場合には、出願前に研究内容等について教員との事前面談を実施いたします。上記メールアドレスにご連絡ください。

### ■ 学内奨学金制度

社会人学生を対象とした学内奨学金制度があり、社会人学生を支援します。

### ■ 入学資格審査\*

出願資格は、入学資格審査における認定も可能です。多様な学生を受け入れます。

### ■ 長期履修制度\*

夜間や土日にも授業を開講していますので、働きながら学べます。

\*詳細は学生募集要項でご確認ください。



# 令和5年度人間環境大学大学院 入学試験

学生募集要項は本学ホームページよりご確認ください。

## ■ 人間環境学研究所人間環境専攻〈修士課程〉

方式	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
I期	令和4年 9月12日(月)～9月26日(月)	令和4年 10月16日(日)	令和4年 10月21日(金)	令和4年 11月4日(金)
II期	令和5年 1月16日(月)～1月27日(金)	令和5年 2月25日(土)	令和5年 3月2日(木)	令和5年 3月10日(金)

## ■ 看護学研究科看護学専攻〈博士前期課程〉〈博士後期課程〉

方式	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
I期	(入学資格審査申請期間) 令和4年 8月1日(月)～8月17日(水)		(入学資格審査結果通知) 令和4年 8月25日(木)	
	(出願期間) 令和4年 9月1日(木)～9月8日(木)	令和4年 9月24日(土)	令和4年 9月29日(木)	令和4年 10月13日(木)
II期	(入学資格審査申請期間) 令和4年 10月3日(月)～10月7日(金)		(入学資格審査結果通知) 令和4年 10月13日(木)	
	(出願期間) 令和4年 10月17日(月)～10月27日(木)	令和4年 11月13日(日)	令和4年 11月17日(木)	令和4年 11月28日(月)
III期	(入学資格審査申請期間) 令和5年 1月5日(木)～1月11日(水)		(入学資格審査結果通知) 令和5年 1月19日(木)	
	(出願期間) 令和5年 1月25日(水)～2月1日(水)	令和5年 2月18日(土)	令和5年 2月24日(金)	令和5年 3月3日(金)

## ■ 松山看護学研究科看護学専攻〈博士前期課程〉〈博士後期課程〉

方式	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
I期	(入学資格審査申請期間) 令和4年 8月1日(月)～8月17日(水)		(入学資格審査結果通知) 令和4年 8月25日(木)	
	(出願期間) 令和4年 9月1日(木)～9月6日(火)	令和4年 9月17日(土)	令和4年 9月22日(木)	令和4年 10月6日(木)
II期	(入学資格審査申請期間) 令和4年 10月3日(月)～10月7日(金)		(入学資格審査結果通知) 令和4年 10月20日(木)	
	(出願期間) 令和4年 10月17日(月)～10月27日(木)	令和4年 11月20日(日)	令和4年 11月24日(木)	令和4年 12月8日(木)
III期	(入学資格審査申請期間) 令和4年 12月5日(月)～12月14日(水)		(入学資格審査結果通知) 令和4年 12月23日(金)	
	(出願期間) 令和5年 1月4日(水)～1月18日(水)	令和5年 2月5日(日)	令和5年 2月10日(金)	令和5年 2月24日(金)

## ACCESS 交通アクセス

**名古屋駅**  
名鉄名古屋本線  
急行で45分

**本宿駅**  
名鉄名古屋本線  
急行で15分

**豊橋駅**  
JR東海道本線  
32分

**浜松駅**

人間環境大学  
岡崎キャンパス

無料  
スクールバス  
3分

徒歩8分

スクールバス運行(無料)  
学内駐車場も利用可能です。

T444-3505  
愛知県岡崎市本宿町上  
三本松6-2

**岐阜駅**  
JR東海道本線  
22分

**名古屋市駅**  
JR東海道本線  
14分

**大府駅**  
JR東海道本線  
36分

**豊橋駅**  
JR東海道本線  
32分

**浜松駅**

JR関西本線(東海)  
35分

JR中央本線(東海)  
42分

徒歩2分

人間環境大学  
大府キャンパス

学内に駐車場はございません。  
必ず公共交通機関でお越しください。

T474-0035  
愛知県大府市江織町3-220

人間環境大学  
松山キャンパス

JR松山駅 徒歩15分

松山市駅 徒歩3分

学内に駐車場はございません。  
必ず公共交通機関でお越しください。

T790-0005  
愛媛県松山市花園町3-6

いのち・こころ・環境の未来を創造する大学

**人間環境大学**  
UNIVERSITY OF HUMAN ENVIRONMENTS

問い合わせ先

入試・広報部

☎0120-48-7812  
e-mail: koho@uhe.ac.jp